



尚徳福祉会生麦保育園

今年は梅雨の時期が例年よりも遅く、じめじめした天気が続いていますね……。急に気温が上がると子どもたちの体調も追いつかずに体調を崩してしまうので、無理をせずに保育園生活を楽しめるようにしたいです。夏ならではのプールあそびも楽しみです！

食事のマナー



毎日ごはんを楽しみにしているぞう組は、時間になるとお茶を準備して各テーブルに座っています。コロナの影響によりわいわいとした雰囲気ではなく、「ありさんかダンゴムシさんの声ではなそうね」といっています。食事の量も自分で調節し、苦手なものがある子もいますが、自分で少しだけたべようとする子もいます。また、口の中に食べ物が入っている時は喋らない、食べ終えた後は自分の机を綺麗に拭く、ティッシュを捨てるなど、少しずつでも身の回りのことにも気づけるようにしています。就学に向けて食事のマナーが身につくように、これからも関わってまいります。

春の園外保育

貝ノ浜公園



18日に貝ノ浜公園まで幼児3クラスで園外保育に行きました。公園では、エビカニクスを踊ったり、しっぽ取り、ボールリレーなどをしたりしました。普段はなかなか3クラスで交流することがないので、異年齢の交流ができてよかったです。保育園に戻って来てから給食の先生が作ったお弁当を園庭で食べました。「たのしいね」「おにぎりおいしいね！」など、沢山の会話が聞かれました。遠足も楽しみです！

あめのお目



ぞう組の電気が一日つかないハプニングがありました。雨が降っていましたが、屋根のある砂場で遊んだり、テラスに机を出してブロックやラキューやワミーを出したり、遊びを自分たちで選んで過ごしました。給食やおやつもテラスで食べると、まるでレストラン！一つ一つ食事を運ぶ時に「お待たせしました、お味噌汁です」と言って渡すと、「なにこれ～！おみせみたいだね！」と楽しそうな会話が沢山聞かれました。電気が夕方につくと「ああ～よかった……」「でんきついてうれしい！」「もう、ずっとつかないかとおもったよ……」など、子どもたちも心配していたようです。「またテラスでごはんたべたい」とリクエストもありました。梅雨の時期でも工夫して、子どもたちが楽しく過ごせるようにしていきたいです。

梅雨ならではの……

生き物が大好きな子どもたちは、外に出るとすぐにカタツムリやダンゴ虫探しをしています。ぞう組になると図鑑やテレビなどで知った知識を、友だち同士で教え合う姿が見られます。「はっぱをいれてあげるといいよね」「ダンゴムシには、まるまらないムシもいるよね」など、会話を楽しみながら探しています。しばらく保育者がその場から離れていると、「せんせい！」と呼ばれ、集めたカゴの中を見るとダンゴ虫の大家族！！「たくさんみつけたの！」と目を輝かせて教えてくれます。沢山見つけた後はどうするのかな？と見ていると、片付けのタイミングで誰も踏まない葉っぱの陰に、また戻してあげる姿が見られました。

あじさい制作



今回はちぎり絵に挑戦し、自分で折り紙を選んでちぎり、画用紙に貼りました。指でちぎることに苦戦している子がいましたが、「こうやるとちぎりやすいね」と伝え、何度か練習する中で引っ張ってちぎっていた子が、上手にちぎれるようになりました。だんだん出来上がる様子を見て「すごい！あじさいができてきた！」と喜びを感じながら制作していました。ちぎり絵が終わった子はちびっこ先生になって、保育者の変わりにやり方を教えてくれる子がいました。一度経験したことを今度はお友だちに言葉で伝えることは、言葉の面での成長になるので、今後の制作も楽しみです。